



今、ここ

めがす子どもの姿 ~ やさしく かしく たくましく ~

「合言葉」わたしが主人公 一人一人が主人公

ーわたしがわたしをつくる。わたしの学校をつくるー

令和5年9月1日 第5号

銭座小学校 校長 丸山朋子

○今日から2学期!! よろしくお願ひします。

○学び、つくる平和

2学期が始まりました。

台風6号の接近に伴い、8月9日の登校日が中止となった今夏。児童・教職員が一堂に会した今日に、安堵し、感謝しております。

保護者の皆様、地域の皆様、今年の夏休みも、子どもたちを見守り、ご指導いただきありがとうございました。何をすることも、暑さ対策、熱中症防止に心を砕かれたのではないのでしょうか。家庭、地域で過ごす時間の中で、それぞれに大切な学び、経験を積んだことと思います。

2学期も、子どもたちが、自分の人生の主人公として当事者意識を持ち「やさしく・かしく・たくましく」成長していくよう、家庭・地域の皆様と協働していければと思います。皆様、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



○地域で学ぶ、遊ぶ夏休み

*学ぶ「銭座地区コミュニティセンター自主講座」

7月22日、「小学生のみんなで取り組むSDGs講座」が開催され、ごみ分別についてお話を聞いたり模擬体験をしたりして学びました。

また、8月5日には、原爆投下時、中学1年生だった、まるたかずおさんが体験したことをお話してくださいました。

地域の方々と学ぶとても貴重な機会でした。

*遊ぶ「手作りの出店がズラリ!! 楽しい夏祭り」

8月1日、放課後子ども教室が行われました。

はじめに図書館で学習した後、おまちかねの夏祭りです。「わ投げ」「パターゴルフ」「ヨーヨー釣り」「缶馬」、・・・、体育館に並ぶ手作りのお店を。次々と回って遊びました。未来の小学生も楽しそうに参加していましたよ。

お土産もいただいて、みんな嬉しそうでした。



*9月10日スタジアムシティ建設現場特別見学会!

今しか見ることでできない景色が見られます。この町の発展、変化を体いっぱい体感しましょう。申込締切りは9月3日です。ふるってご参加ください。

1944年昭和19年の初め、銭座小(当時は銭座国民学校)は児童数2,300名。長崎で一番大きな学校でした。しかし、状況は悪化。警戒・空襲警報のサイレンが鳴り響き、疎開していく児童も増えて、昭和20年7月末の児童数は902名になっていました(用務員だった石田チカさんの手記参照)。小さな励みや生きがいを見つけ、厳しい毎日を精一杯生きていた人々の姿が浮かびます。

1945年昭和20年8月9日、夏休みのお昼前、人々の暮らしの場を目掛けて原爆は投下されました。約500人の児童と4名の教職員がなくなったと記録に残ります。

78年後の今年、子どもたちはそれぞれの場所で、この日を迎えました。ご家庭のご指導のもと、これまでの学びを生かし、考えて過ごす子どもたちの姿を思いました。



各学年で話し合い、平和への思いを言葉にしました。8月9日に予定していた平和集会は、来週火曜日に実施する予定です。

8月3日、長崎原爆で犠牲になった児童生徒と教職員を追悼する「原爆殉難教え子と教師の慰霊式」が行われました。6年生8名が学校代表で出席し、献花しました



家族を大切に作る気持ち、友達に掛ける言葉、関わる人への誠実さなど、日々の暮らしや人との関わりの中に生きてはたらく学びを今後も大切にしていきます。

学校保健委員会 お待ちしています。

○ 9月7日(木) 14:10

・5年生の授業を参観

「いろいろな性って何だろう」

・講話(講師) take it! 虹 代表 儀間由里香さん



「性の多様性理解」をテーマとした授業や研修会は、学校だけでなく、職場や地域でも、開かれることが多くなり、参加された方もいらっしゃると思います。

知り、理解していることで、子どもたちの疑問に安心して応じることができ、子どもに限らず誰かを支え、相談相手になることもできます。

無意識の差別を生まないためにも、皆で学びましょう。